

安全データシート

作成 平成 20 年 5 月 1 日
改訂 平成 29 年 2 月 22 日

1. 製品及び会社情報

製品名 水溶性切削液(ソリュブル)
会社名 株式会社 MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX 番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M200625

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性：

急性毒性(吸入-粉塵・ミスト)	区分 4 (シンボル:感嘆符、注意喚起語:警告)
皮膚腐食/刺激性	区分 3 (シンボル無し、注意喚起語:警告)
目に対する重篤な損傷性/ 刺激性	区分 1 (シンボル:腐食性、注意喚起語:危険)
皮膚感作性	区分 1 (シンボル:感嘆符、注意喚起語:警告)
生殖細胞変異原性	区分 2(シンボル:健康有害性、注意喚起語:警告)
生殖毒性	区分 1(シンボル:健康有害性、注意喚起語:危険)
特定標的臓器/ 全身毒性(単回暴露)	区分 1(肝臓) (シンボル:健康有害性、注意喚起語:危険)
区分 2 (肺)(シンボル:健康有害性、注意喚起語:警告)	
特定標的臓器/ 全身毒性(反復暴露)	区分 1(肺、皮膚) (シンボル:健康有害性、注意喚起語:危険)
	区分 2 (肝臓、腎臓、血液、中枢神経系) (シンボル:健康有害性、注意喚起語:警告)

環境毒性

水生環境急性有害性	区分 2 (シンボル無し、注意喚起語無し)
水生環境慢性有害性	区分 3 (シンボル無し、注意喚起語無し)

- ・上記に記載がない危険有害性の分類結果は分類できない又は分類対象外
- ・本製品は希釈して使用するので使用における危険有害性は上記の通りではない

絵表示又はシンボル



労働安全衛生法に基づく表示

通知対象物	ジエタノールアミン	1～10%
	鉱油	1～10%

危険有害性情報

吸入すると有毒
軽度の皮膚刺激
重篤な目の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝子損傷による疾病のおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害
長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に有害

3. 組成成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名：混合物により適用外

成分：合成潤滑添加剤、不活性硫黄系極圧添加剤、精製鉱油、有機酸塩、有機アミン、防錆添加剤、非イオン系界面活性剤、陰イオン系界面活性剤、非鉄用防食剤、特殊防腐剤、消泡剤、水などを主な成分とする。

化学式または構造式：混合物により適用外

官報公示整理番号（化審法）：全ての成分は既存化学物質リストに記載済

国連分類および国連番号：該当せず

4. 応急処置

目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗浄し、眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：付着部を多量の水で十分洗浄し、異常があれば医師の診断を受ける。

吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移す。異常があれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：直ちに水を飲ませて吐き出させ、医師の診断を受ける。

5. 火災の処置

本品は含水晶で不燃であるが、移動可能な場合は速やかに安全な場所に移動する。移動不可能な場合は周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の処置

少量の場合は、土砂等で吸着させて空容器に回収し、その後多量の水で洗い流す。濃厚な液は環境に流出しないように注意する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：常温で取り扱うものとし、換気の良い場所で行う。
皮膚、粘膜に触れたり、目に入らないように保護具の着用を行う。
飲み込まないこと。
保管：容器は直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管する。

8. 暴露防止処置

管理濃度：記載なし（労働省告示第79号）
許容濃度：設定されていない（日本産業衛生学会 1999年）
設備対策：ミストが発生する作業では局所排気設備を設置する。
取り扱い場所近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸保護具：必要に応じて着用する。
保護眼鏡：防塵眼鏡を着用する。
保護手袋：ゴム手袋などを着用する。
保護衣：必要に応じて着用する。

9. 物理／化学的性質

外 観：黄褐色微濁液体
比 重：1.02(20℃)
pH：9.5(15倍)
溶解性：水に任意の比率で混合

(参考)

- ・本品は塩素系化合物を含まないが、塩素系化合物を含む油剤は、焼却時にダイオキシンが発生する恐れがある。
- ・本品は静菌性物質を含まないが、ジシクロヘキシルアミンなどの静菌性物質を含む油剤（バイオタイプ）は、ごく微量で水生生物の繁殖機能を阻害し、ごく微量でも環境を汚染する恐れがある。

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の場合で安定
反応性：強酸化剤の接触を避ける。
避けるべき条件：ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないように注意する。
混触危険物質：現在のところ有用な情報なし。
危険有害な分解生成物：燃焼の際には一酸化炭素等が発生する可能性がある。
その他：現在のところ有用な情報なし。

11. 廃棄上の注意

ユーザーが自ら凝集沈殿法、活性汚泥法などにより処理するか廃棄物処理業者に処理を委託する。

12. 輸送上の注意

運送に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、衝突、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

13. 有害性情報

- ・原液が皮膚に触れたり、原液のミストを吸入すれば手荒れや刺激が生じるので注意が必要。
- ・使用液が皮膚や目に触れた場合、濃度や体質によっては皮膚炎や刺激の可能性がある。

14. 環境影響情報

- 分解性：知見なし
- 蓄積性：知見なし
- 魚毒性：知見なし

(参考)

- ・本品は塩素系化合物を含まないが、塩素系化合物を含む油剤は、焼却時にダイオキシンが発生する恐れがある。
- ・本品は静菌性物質を含まないが、ジシクロヘキシルアミンなどの静菌性物質を含む油剤（バイオタイプ）は、ごく微量で水生生物の繁殖機能を阻害し、ごく微量でも環境を汚染する恐れがある。

15. 適用法令

- P R T R法：該当しない
- 労働安全衛生法：通知対象物含有
- 消防法：該当しない
- 毒物劇物取締法：該当しない
- 水質汚濁防止法：排出基準規制
- 産廃処理法：産業廃棄物規制

16. その他

- 参考資料 安井：現場に役立つ油剤技術の話、機械技術、Vol.51、No.9(2003)
「水溶性切削油剤の安全・環境対策（Ⅰ）」